

第2次古賀市地球温暖化対策実行計画(区域施策編) 取組案

資料3-2

第4章 脱炭素ロードマップに記載する範囲								
地球温暖化対策	分類	基本方針	具体的施策		取組	詳細に記載する取組内容の案(第5章へ反映予定)		
知識をつけて	緩和策	A-1 地球温暖化対策に関する基盤的対策	施策1	市民や事業者の環境意識の向上	①地域、学校等での環境教育の促進	・環境人材バンクの活用等による専門人材による講座実施 ・まちづくり出前講座等の開催による市民の知識向上 ・脱炭素セミナーの開催による事業者の知識向上		
					②各種イベントや広報誌等での普及啓発	・各種イベント等での地球温暖化対策に関する啓発の実施 ・広報誌や市HP、SNS等での情報提供の推進		
		施策2	脱炭素社会の実現に向けた基盤整備	③脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動 デコ活の推進	・市民や事業者のデコ活への賛同を促す			
				①市民への脱炭素社会実現に向けた情報提供	・市HPや各種イベントでの脱炭素に向けた取組の周知・啓発			
		施策3	省エネ活動等、エネルギー使用の合理化によるCO2排出量の削減	②事業者を複合的に支援するプラットフォームの構築及び運用	・プラットフォームの活用による脱炭素経営への変革の推進			
				①省エネ活動の定着に向けた取組	・市民や事業者の省エネ・節電対策の普及啓発 ・エネルギー使用量の可視化の推進 ・公共施設における省エネ対策の推進			
CO2排出量を削減して	緩和策	A-2 エネルギー起源のCO2の削減対策	施策4	EVやPHEV等の活用による運輸部門の脱炭素化の促進	②省エネ技術の活用と普及に向けた取組の推進	・市民や事業者の高効率機器の導入促進 ・公共施設における高効率機器の導入促進 ・省エネ技術の普及促進 (ZEB、ZEH基準の建築物の増加)		
					①移動によるCO2排出量の削減対策の推進	・徒歩や自転車の利用促進 ・公共交通機関の利用促進 ・エコドライブの推進 ・環境に配慮した輸送手法の選択		
			施策5	地域特性に応じたデジタル技術を活用した脱炭素化の取組	②EV、PHEV等の次世代自動車の普及促進	・EV、PHEV等の自動車の導入促進 ・市内への充電設備の導入促進 ・公用車へのEV、PHEVの導入促進		
					①新たな技術の活用によるDX・GXの推進	・デジタルデータの活用によるGXの推進(GISの活用等) ・農業におけるスマート農業の取組の推進 ・EMSやAI、IoT、ICTなどの新たな技術の普及促進 →電力のピークカット、スマート街路灯		
		施策6	まちづくりにおけるCO2排出量削減対策	①都市機能の集約や地域環境の整備によるCO2排出量の削減	・コンパクトなまちづくりの推進 ・ウォークアブルな街づくりに向けた取組の推進 ・景観に配慮した都市緑化の推進(ヒートアイランド対策など) ・CO2排出量の削減に寄与する地域環境の整備(CO2貯留機能等のまちづくり)			
				A-3 非エネルギー起源のCO2削減対策	施策7	4Rなど資源循環の推進による循環型社会の形成 (※ごみ処理基本計画の記載に合わせ設定する)	①4Rの推進による資源循環の推進	・分別の徹底 ・使用済み太陽光、蓄電池のリユースに関する情報収集
		②廃棄物減量をめざした取り組みの推進	・ごみ減量 ・フードドライブの推進 ・食品ロスの解消					
		③廃棄物の活用	・バイオガス発電の活用の検討(食品残渣や間伐材等) ・食品残渣のたい肥化処理					
		非化石燃料へエネルギー転換して	緩和策	A-4 再生可能エネルギー等、CO2を排出しないエネルギーへの転換	施策8	再生可能エネルギーポテンシャルの最大限活用	①再生可能エネルギー設備に関する理解促進	・再生可能エネルギーに関する情報収集及び情報発信 ・市の特性に合った再生可能エネルギー設備導入手法の検討 ・自然環境、周辺環境に配慮した導入の促進
							②市民・事業者への再生可能エネルギー設備導入の促進	・市民や事業者の自家消費型太陽光発電設備導入の促進 ・公共施設における太陽光等再生可能エネルギー設備の率先導入 ・第三者所有モデル(PPA)の活用検討 ・再生可能エネルギー熱や未利用熱の活用の利用
施策9	CO2排出実質ゼロの電気・燃料の利用の推進			③蓄電池やEV自動車等を活用したエネルギーの地産地消の推進	・住宅や事業所への蓄電池等の導入促進 ・市有施設への必要に応じた蓄電池の導入促進(レジリエンス強化含む) ・蓄電池としての電気自動車活用の推進(V2H)			
				①脱炭素電力や脱炭素燃料の利用促進	・脱炭素電力への転換の推進 ・脱炭素燃料への転換の推進			
植物に吸収させて	緩和策	A-5 森林等による吸収源対策	施策10	森林や都市公園、緑地等の整備による吸収源対策の推進	②水素エネルギーの普及啓発	・水素発電に関する情報収集及び情報発信 ・燃料電池自動車の導入促進 ・家庭用燃料電池(エネファーム)の導入推進		
					①森林や里山の適正管理による吸収源の維持	・森林整備・保全活動の推進 ・林業の担い手の支援や育成		
					②都市公園や緑地の適正管理による吸収源の維持	・都市公園や緑地における緑の保全 ・公園樹・街路樹等の管理などによる都市緑化の推進		
それでも削減できないCO2は集める	適応策	B-1 気候変動適応策	施策11	気候変動による自然災害への適応	③CO2回収・有効活用に関する情報収集	・CO2回収技術及び回収したCO2の活用事例の情報収集		
それでも進む温暖化に対応していく					施策12	自然環境や生態系の変化への適応	①自然災害による被害の防止に関する取組の推進	・防災対策(水害・高潮・土砂災害・台風・豪雨対策など) ・レジリエンス強化 ・災害に備える意識啓発
							施策13	暮らしや健康に関する影響への適応
施策13	暮らしや健康に関する影響への適応	①産業への影響への適応	・気候変動による産業への影響の把握・適応方法の検討 (リスク: 穀物収量への影響)					
		施策13	暮らしや健康に関する影響への適応	②私たちの健康への適応	・熱中症対策の推進(熱中症予防、COOLスポット) ・感染症への対策・拡大防止			